たな卸資産の明細

（単位：円）

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入製造振替	その他	払出振替	その他		
貯蔵品							
書籍	23,614,290	—	—	340,395	23,273,895	—	(注)
合計	23,614,290	—	—	340,395	23,273,895	—	

(注)　「当期減少額」の「その他」欄の金額は、たな卸資産評価損として臨時損失に振替えた金額を示したものであります。

資本金及び資本剰余金の明細

（単位：円）

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	7,179,918,000	—	—	7,179,918,000	
	計	7,179,918,000	—	—	7,179,918,000	
資本剰余金	無償譲与	1,224,000	—	—	1,224,000	
	運営費交付金	30,000,000	—	—	30,000,000	
	計	31,224,000	—	—	31,224,000	
	損益外減価償却累計額	△2,205,554,912	△ 205,493,784	△ 3,029,100	△2,408,019,596	（注１）
	損益外固定資産除売却差額	△ 6,988,308	△ 3,743,000	—	△ 10,731,308	（注２）
	損益外減損損失累計額	△ 581,400	—	—	△ 581,400	
	差引計	△2,181,900,620	△ 209,236,784	△ 3,029,100	△2,388,108,304	

（注１）　当期減少額は、現物出資を財源とする固定資産の除却に係るものであります。
（注２）　当期増加額は、現物出資を財源とする固定資産の除却によるものであります。

積立金の明細

（単位：円）

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
積立金	4,044,968	276,739,190	△280,784,158	—	当期積立金 276,739,190 国庫納付金 280,784,158
目的積立金	—	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金	—	—	—	—	

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1)　運営費交付金債務の増減の明細

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成22年度	—	2,220,398,000	2,047,600,873	92,128,050	—	2,139,728,923	80,669,077
合計	—	2,220,398,000	2,047,600,873	92,128,050	—	2,139,728,923	80,669,077

(2)　運営費交付金債務の当期振替額の明細
平成22年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,047,600,873	①費用進行基準を全ての業務に採用している。 ②当該業務にかかる損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：2,070,240,982 （役職員人件費：384,534,002、法定福利費・福利厚生費：74,515,599、退職手当：1,991,760、その他人件費：298,082,339、外部委託費：692,155,071、賃借料：36,912,534、減価償却費：189,308,278、保守・修繕費：192,177,053、水道光熱費：47,125,779、旅費交通費：15,213,670、消耗品費：21,180,199、備品費：14,994,771、通信費：46,803,975、印刷製本費：9,681,549、その他の経費：25,181,307、支払利息：20,383,096） イ）自己収入に係る収益計上額：4,639,150 （刊行物売払：1,249,695、複写利用：1,391,660、財産賃貸収入：710,839、雑益：1,064,660、受取利息：222,296） ウ）固定資産の取得額：建物77,879,550、工具器具備品：14,248,500 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 （費用2,070,240,982＋リース債務分171,629,564）－自己収入予算額4,621,000－減価償却費189,308,278－たな卸払出340,395＝2,047,600,873
	資産見返運営費交付金	92,128,050	
	資本剰余金	—	
	計	2,139,728,923	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		2,139,728,923	